

2026年12月期 第1四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white square on a dark blue background. The letters 'AGC' are in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'G' and 'C'.

AGC株式会社

2026年5月12日

Your Dreams, Our Challenge



2026年12月期 第1四半期業績	_____	p. 4
1. 業績のポイントと主要項目	_____	p. 5
2. セグメント別の状況	_____	p. 12
2026年通期業績の見通し	_____	p. 19
付属資料	_____	p. 28

第1四半期実績

- 前年同期比、384億円増収、126億円増益
 - 売上高は、円安効果に加え、エッセンシャルケミカルズ東南アジアでの出荷増や欧州建築ガラスの価格政策等が寄与
 - 営業利益は、上述の増収要因に加え、ライフサイエンスの損益改善や欧州天然ガス価格の下落が寄与

通期業績見通し

- 通期業績見通しは据え置き
- 現時点では中東情勢影響は軽微と見込む

2026年12月期 第1四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

2026年12月期 第1四半期業績

(億円)

		FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高		4,996	5,380	+ 384*
営業利益		258	385	+ 126
税引前利益		170	350	+ 180
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		66	228	+ 162
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 152.6	JPY 156.9	
	1EUR	JPY 160.5	JPY 183.7	
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	76.94	86.30	

主な変動要因

増収要因

- 円安効果
- エッセンシャルケミカルズ東南アジアの出荷増
- 欧州建築ガラスの価格政策効果

減収要因

- エッセンシャルケミカルズ東南アジアの販売価格下落
- 欧米建築ガラスの出荷減

上述の要因に加え、

増益要因

- ライフサイエンスの損益改善
- 欧州天然ガス価格の下落

上述の要因に加え、

増益要因

- 為替差益




減益要因

- 事業構造改善費用の増加

* うち、為替差影響は+284億円、連結範囲変更の影響は▲6億円

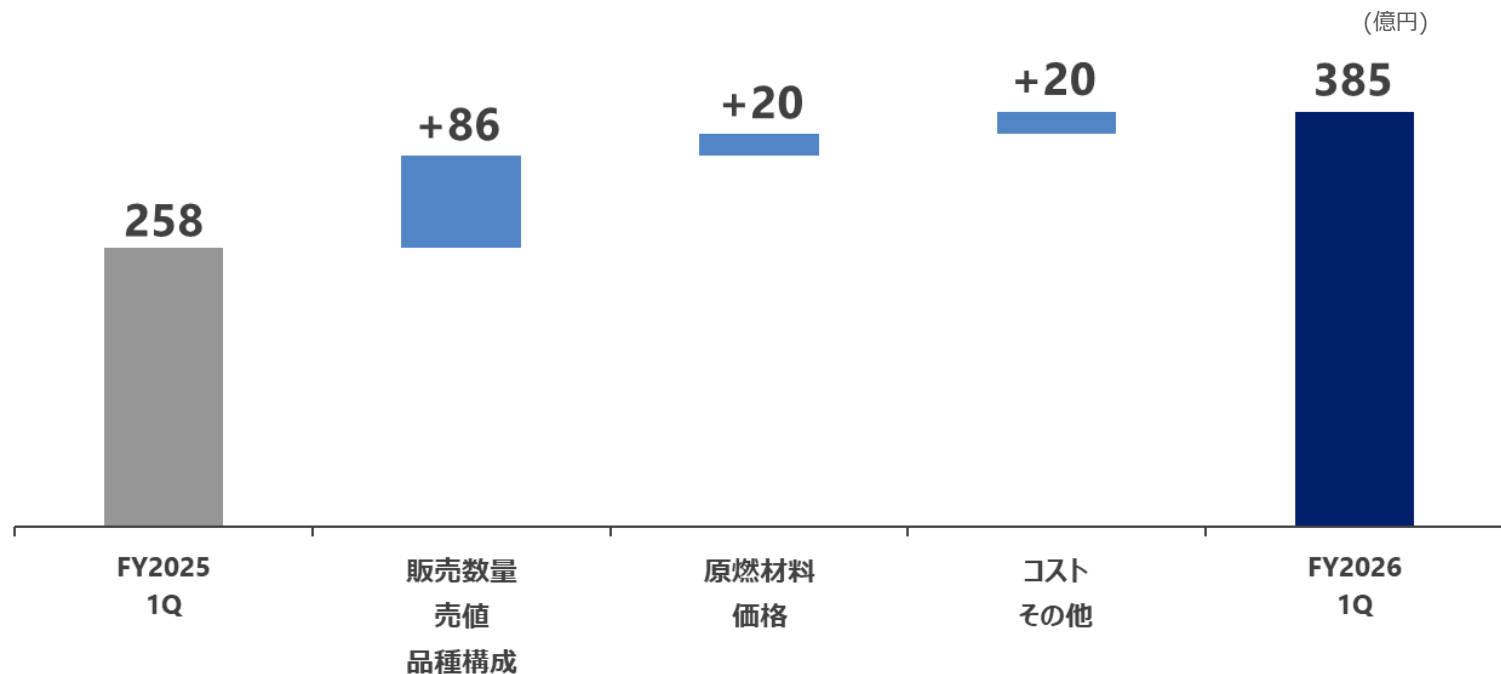
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2025		FY2026		増減	
	1Q		1Q		(b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	1,040	▲ 9	1,120	47	+ 80	+ 56
 オートモーティブ	1,287	77	1,376	86	+ 89	+ 10
 電子	867	140	903	123	+ 36	▲ 18
 化学品	1,441	111	1,572	152	+ 131	+ 41
 ライフサイエンス	310	▲ 62	356	▲ 33	+ 46	+ 28
 セラミックス・その他	134	▲ 0	110	8	▲ 24	+ 8
消去	▲ 84	1	▲ 59	2	+ 26	+ 1
合計	4,996	258	5,380	385	+ 384	+ 126

営業利益増減要因分析 (1Q FY2026 vs 1Q FY2025)

前年同期比 126億円増益



	2025/12/31	2026/3/31	(億円) 増減	
現金及び現金同等物	947	1,198	+ 252	
棚卸資産	4,654	4,724	+ 70	
有形固定資産・無形資産及びのれん	17,604	17,561	▲ 43	
その他	6,296	6,472	+ 176	
資産合計	29,501	29,955	+ 455	為替差影響 +59億円
有利子負債	6,465	7,027	+ 563	
その他	5,719	5,733	+ 14	
負債の部	12,184	12,761	+ 577	
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,851	14,949	+ 97	
非支配持分	2,466	2,246	▲ 220	
資本の部	17,317	17,195	▲ 123	為替差影響 +72億円
負債及び資本合計	29,501	29,955	+ 455	
D/E比率	0.37	0.41		

連結キャッシュフロー計算書

(億円)

	FY2025 1Q	FY2026 1Q
税引前利益	170	350
減価償却費及び償却費	443	481
運転資金増減	▲ 32	▲ 327
その他	▲ 130	▲ 78
営業活動によるCF	450	426
投資活動によるCF	▲ 516	▲ 597
フリーキャッシュフロー	▲ 66	▲ 171
有利子負債増減	213	632
支払配当	▲ 223	▲ 223
その他	▲ 16	▲ 11
財務活動によるCF	▲ 26	397
現金等に係る換算差額等	▲ 41	25
現金等の増減額	▲ 133	252

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	FY2025 1Q	FY2026 1Q
設備投資額	496	441
建築ガラス	78	82
オートモーティブ*	71	75
電子	85	112
化学品	199	102
ライフサイエンス	55	68
セラミックス・その他	9	18
消去	▲ 0	▲ 16

	FY2025 1Q	FY2026 1Q
減価償却費	443	481
建築ガラス	63	72
オートモーティブ*	79	80
電子	124	130
化学品	136	162
ライフサイエンス	37	34
セラミックス・その他	4	4
消去	▲ 0	▲ 0

	FY2025 1Q	FY2026 1Q
研究開発費	141	139

2026年 主な設備投資 案件

- 建築ガラス製造窯修繕（建築ガラス）
- 半導体関連他製造設備増強（電子）
- バイオ医薬品CDMO能力増強（ライフサイエンス） など

2. セグメント別の状況

	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高	1,040	1,120	+ 80 *
アジア	346	345	▲ 0
欧米	685	773	+ 88
(セグメント間)	10	2	▲ 8
営業利益	▲ 9	47	+ 56

* うち、為替差影響は+102億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

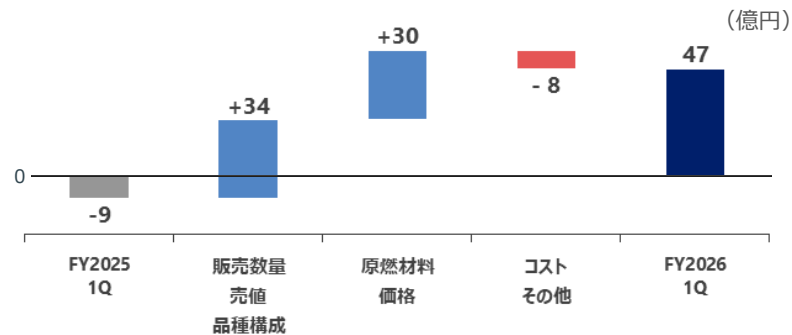
売上高

- アジアは、出荷が日本で減少した一方、東南アジアでは増加
東南アジアの販売価格は下落
- 欧米は、出荷が減少したものの、円安や欧州での価格政策が寄与

営業利益

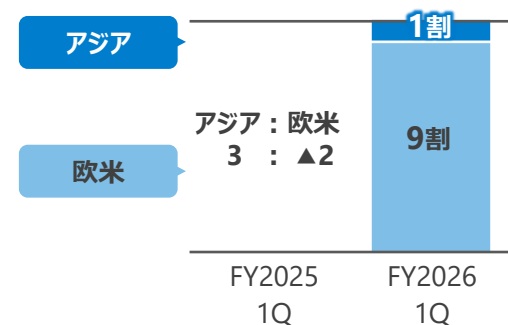
- 上述の増収要因に加えて、欧州天然ガス価格の下落が寄与

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高	1,287	1,376	+ 89 *
オートモーティブ	1,287	1,376	+ 89
(セグメント間)	1	1	▲ 0
営業利益	77	86	+ 10

* うち、為替差影響は+77億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

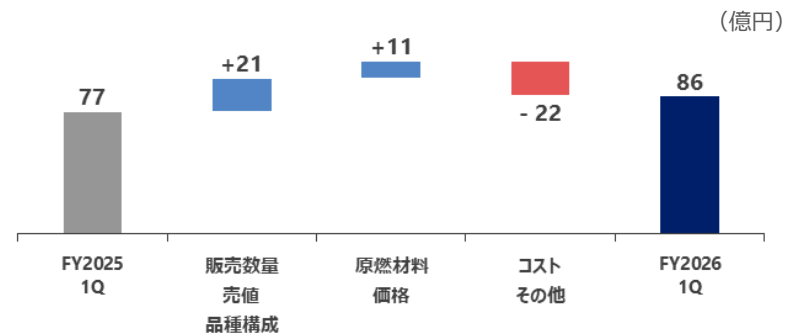
売上高

- 円安による増収効果
- 高機能化の進展により、日本・欧州・北米で品種構成が改善

営業利益

- 製造コストが増加したものの、上述の増収要因が寄与

営業利益増減要因分析



	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高	867	903	+ 36 *
ディスプレイ	458	481	+ 23
電子部材	405	417	+ 12
(セグメント間)	4	5	+ 1
営業利益	140	123	▲ 18

* うち、為替差影響は+9億円、連結範囲変更の影響はなし (億円)

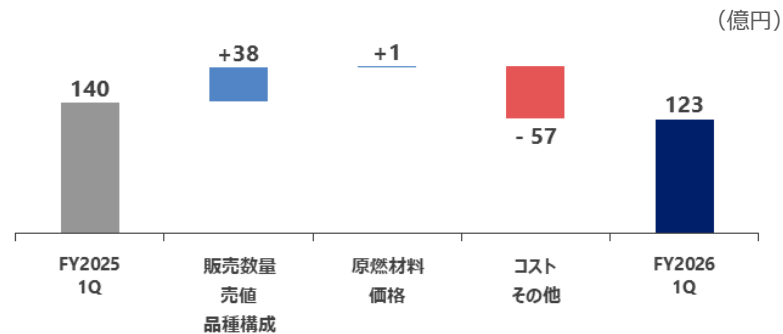
売上高

- ディ스플레이は、液晶ディスプレイ用ガラス基板の販売価格が上昇
- 電子部材は、EUV露光用フォトマスクブランクスの出荷は回復途上、その他の半導体関連部材およびオプトエレクトロニクスの出荷は増加

営業利益

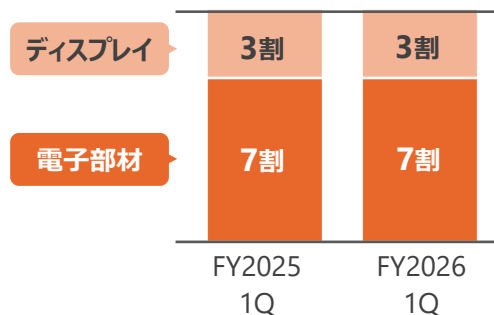
- 上述の増収要因があったものの、製造コストが悪化
- ディ스플레이は円安がマイナスに影響

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高	1,441	1,572	+ 131 *
インテグレイテッドケミカルズ	717	784	+ 67
エッセンシャルケミカルズ東南アジア	712	784	+ 72
(セグメント間)	12	4	▲ 8
営業利益	111	152	+ 41

* うち、為替差影響は+64億円、連結範囲変更の影響は▲6億円 (億円)

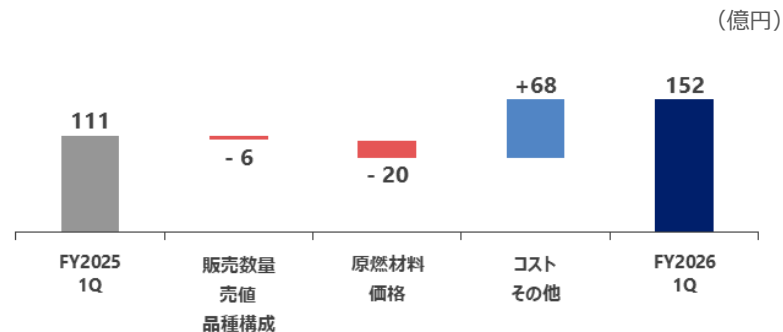
売上高

- インテグレイテッドケミカルズは、エレクトロニクス向け製品等の出荷が増加
- エッセンシャルケミカルズ東南アジアは、塩化ビニル樹脂および苛性ソーダの販売価格が下落も、タイの設備増強により出荷増、円安も寄与

営業利益

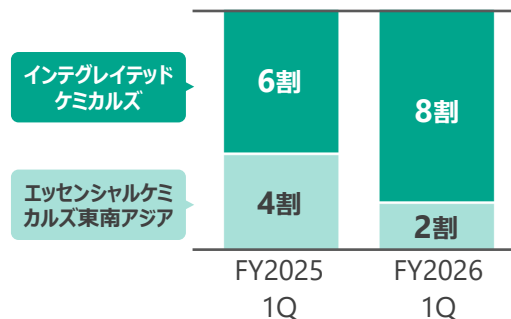
- 上述の増収要因に加え、製造原価等の改善や一時収益が寄与

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高	310	356	+ 46 *
ライフサイエンス	300	349	+ 49
(セグメント間)	10	7	▲ 3
営業利益	▲ 62	▲ 33	+ 28

* うち、為替差影響は+31億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

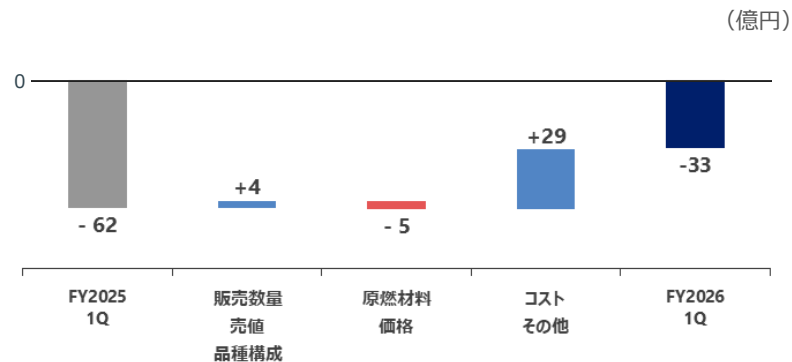
売上高

- 合成医農薬CDMO、バイオ医薬品CDMOともに円安と受託増加により増収

営業利益

- バイオ医薬品CDMOコロラド拠点閉鎖等による固定費削減施策の効果が発現
- 尚、前四半期比では、コペンハーゲン拠点等の受託増、生産性が改善

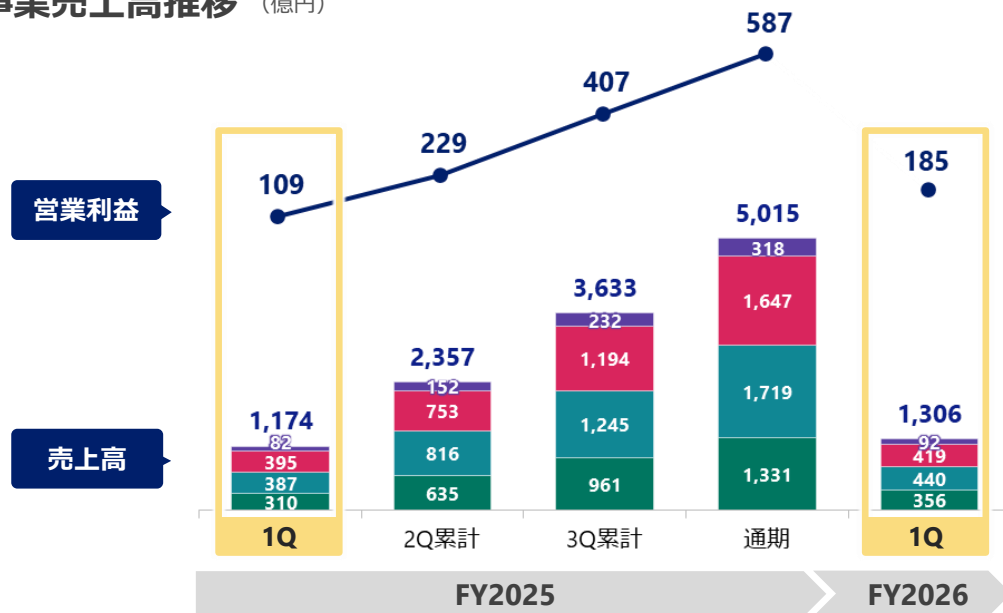
営業利益増減要因分析



戦略事業の業績貢献

- 全ての戦略事業の売上が堅調に推移し、前年同期比で増収増益
- パフォーマンスケミカルズとライフサイエンスが増益に貢献

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向け高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信用部材

パフォーマンスケミカルズ

- 高機能化学製品 (エレクトロニクス・エネルギー・モビリティ向け等)

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

2026年12月期 通期業績の見通し

- 第1四半期：原油価格が上昇
一部原料の調達難を見越した生産調整を実施するも、全体業績への影響は軽微
- 第2四半期以降：情勢予測は困難も、現時点では通期全体業績への影響は軽微と見込む
各種対策を講じ安定供給の維持に努める

現時点で見込まれる主な影響と対策

原燃材料	<ul style="list-style-type: none">調達 エチレン・プロピレン、各種資材不足のリスク価格 エチレン・プロピレン、天然ガス・重油、梱包費、輸送費等の価格上昇のリスク	↓
販売数量	<ul style="list-style-type: none">生産調整に伴う塩ビ・苛性ソーダ・ウレタン等の販売数量減少リスク自動車の中東向け輸出減少に伴う自動車用ガラスの販売数量減少のリスク	↓
製品価格	建築ガラス等の価格調整、化学品の販売価格上昇の可能性	↑
対策	<ul style="list-style-type: none">調達ソースの多様化コスト削減適切な稼働調整価格適正化	↑

2026年12月期 通期業績見通し







- 通期業績見通しは、原油価格前提を見直しの上、据え置き

		(億円)	
		FY2025	FY2026e
売上高		20,588	22,000
	(上期)	9,955	10,700
営業利益		1,275	1,500
	(上期)	540	600
税引前利益		1,248	1,240
親会社の所有者に帰属する当期純利益		692	770
1株当たり配当 (円)		210	210
営業利益率		6.2%	6.8%
ROE *		4.7%	5.2%
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 149.7	JPY 155.0
	1 EUR	JPY 169.0	JPY 180.0
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	69.4	100.0

セグメント別 売上高/営業利益見通し

■ セグメント別業績見通しも据え置き

(億円)

	FY2025 (a)		FY2026e (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,411	173	4,800	200	+ 389	+ 27
 オートモーティブ	5,206	293	5,100	320	▲ 106	+ 27
 電子	3,551	475	3,600	450	+ 49	▲ 25
 化学品	5,842	530	6,800	560	+ 958	+ 30
 ライフサイエンス	1,331	▲ 223	1,600	▲ 50	+ 269	+ 173
 セラミックス・その他	599	26	600	20	+ 1	▲ 6
消去	▲ 351	1	▲ 500	0	▲ 149	▲ 1
合計	20,588	1,275	22,000	1,500	+ 1,412	+ 225

FY2026



建築ガラス

アジア

- タイとインドネシアでの需要回復により出荷は増加
- 燃料価格上昇によるコスト増の可能性有り
- 価格調整や生産性向上の取り組みを継続

欧米

- 欧州での景気低迷が継続し、出荷の回復は限定的
- 価格調整やコスト削減を実施



オートモーティブ

- 自動車の生産台数や中東向けの輸出減少により出荷は減少
- 品種構成改善や生産性向上の取り組みを継続
- 燃料コスト増に伴う価格調整を実施

FY2026



ディスプレイ

- 液晶用ガラス基板の出荷はやや減少
- 収益改善施策を継続

電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連部材は出荷増
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷は前期並み



インテグレイテッドケミカルズ

- エレクトロニクス向け製品等の出荷増

エッセンシャルケミカルズ東南アジア

- タイの増設設備本格稼働により出荷増

共通

- 原燃材料価格が上昇、販売価格も上昇
- 中東に依存しない原料入手ソースの確保

FY2026



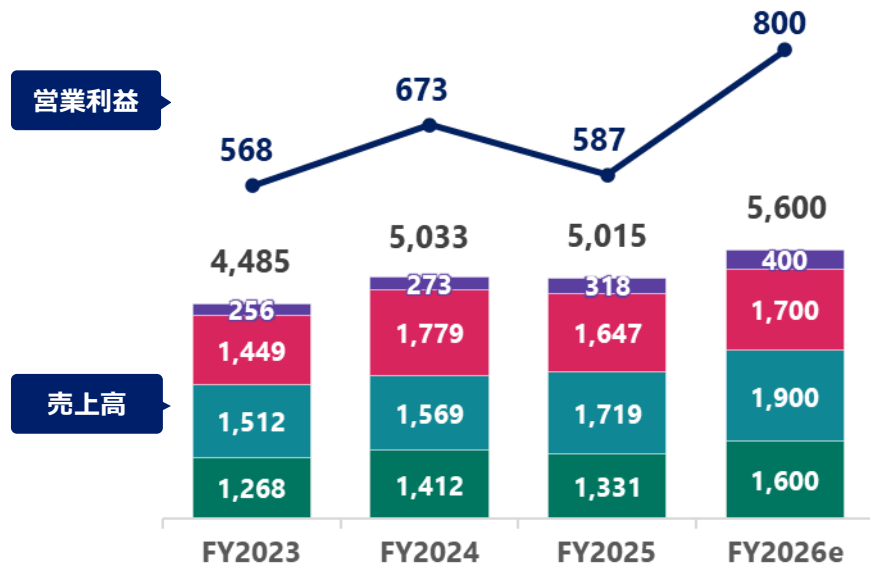
ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOは、増設設備の稼働開始等により売上増加
- バイオ医薬品CDMOは、売上増加に加え、生産性改善
- 米国コロラド拠点閉鎖により赤字が大きく縮小

戦略事業の売上高・営業利益見通し

- 戦略事業についても通期業績見通しは据え置き

戦略事業 業績推移 (億円)



モビリティ

製品の出荷が増加

エレクトロニクス

EUV露光用フォトマスク blanks等
半導体関連部材の出荷が増加

パフォーマンス
ケミカルズ

エレクトロニクス向けを中心に出荷が増加

ライフサイエンス

バイオ医薬品CDMOの受託案件増加に加え
合成医薬農薬CDMOの増設設備が稼働開始

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し (本年2月発表資料再掲)

- 2025年で大規模な能力拡大投資は一段落、2026年の設備投資を圧縮

(億円)

	FY2025	FY2026e		FY2025	FY2026e		FY2025	FY2026e
設備投資額	2,513	1,900	減価償却費	1,798	1,830	研究開発費	603	620
建築ガラス	331	270	建築ガラス	262	260			
オートモーティブ	431	330	オートモーティブ	318	290			
電子	529	470	電子	496	480			
化学品	902	480	化学品	554	640			
ライフサイエンス	281	330	ライフサイエンス	153	140			
セラミックス・その他	39	20	セラミックス・その他	17	20			
消去	▲ 0	0	消去	▲ 1	0			

2026年 主な設備投資 案件

- 建築用ガラス製造窯修繕 (建築ガラス)
- 自動車用ガラス加工ライン増設 (オートモーティブ)
- ディスプレイ製造窯修繕 (電子)
- 半導体関連他製造設備増強 (電子)
- フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- バイオ医薬品CDMO能力増強 (ライフサイエンス) など

付属資料

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で

5億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額



原油

1バレルあたり

1ドル上昇した場合

2.6億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品
市況

1 苛性ソーダ

国際市況が
\$1上がると**\$1.3M**の増益

2 塩ビスプレッド

\$1上がると**\$1.7M**の増益*

*塩ビスプレッド：塩比市況－(エチレン市況×0.5)

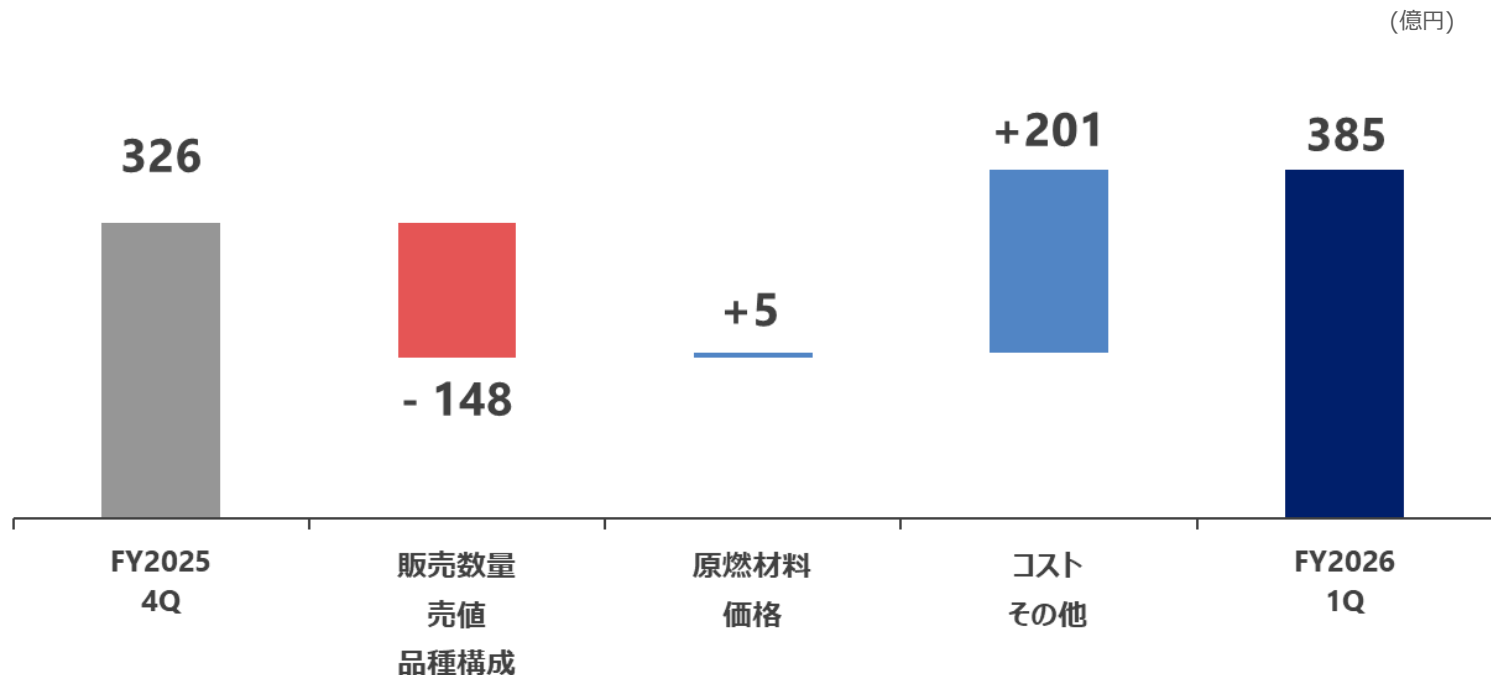
2026年の主要経済・市場の当社想定 (本年2月発表資料再掲。中東情勢影響は織り込まず)

■ 厳しい状況が継続する市場はあるが、グローバル経済は緩やかに成長

経済・市場	2026年の想定	特に影響を受ける事業
グローバル経済	AI関連投資の拡大や主要国における金融環境の緩和を背景に、 緩やかに成長	全事業 (+ -)
欧州経済	景気 停滞が継続	建築ガラス・オートモーティブ (-)
中国経済	景気 停滞が継続	エッセンシャルケミカルズ東南アジア (-)
米国経済	景気は 底堅く推移	エレクトロニクス (+)
自動車市場	生産台数は弱含みも、高機能化は継続	オートモーティブ (+ -)
苛性ソーダ・塩ビ市況	東南アジアの塩ビ・苛性ソーダの市場価格は 低水準が継続	エッセンシャルケミカルズ東南アジア (-)
半導体市場	半導体市場はAI関連分野が牽引し 成長	エレクトロニクス・パフォーマンスケミカルズ (+)
スマートフォン市場	生産台数は横這いも、高機能化は継続	エレクトロニクス (+)
TV市場	台数は横這いも、TVセットの大型化は継続	ディスプレイ (+)
バイオ医薬品CDMO市場	緩やかに回復	ライフサイエンス (+)

営業利益増減要因分析 (1Q FY2026 vs 4Q FY2025)

前四半期比 58億円増益









地域別業績 前年同期比較

	(億円)		
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減
売上高	4,996	5,380	+ 384
日本・アジア	3,150	3,310	+ 159
アメリカ	601	638	+ 37
ヨーロッパ	1,244	1,431	+ 187
営業利益	258	385	+ 126
日本・アジア	412	416	+ 4
アメリカ	▲ 17	13	+ 30
ヨーロッパ	▲ 18	50	+ 68
地域共通費用	▲ 119	▲ 94	+ 25

為替差影響
+284億円
連結範囲変更の影響
▲6億円

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
	建築ガラス	1Q FY2026	345	67	706	2	1,120
		1Q FY2025	346	74	611	10	1,040
	オートモーティブ	1Q FY2026	664	303	410	1	1,376
		1Q FY2025	647	278	362	1	1,287
	電子	1Q FY2026	776	119	3	5	903
		1Q FY2025	727	133	3	4	867
	化学品	1Q FY2026	1,381	112	76	4	1,572
		1Q FY2025	1,278	86	66	12	1,441
	ライフサイエンス	1Q FY2026	74	38	237	7	356
		1Q FY2025	67	31	203	10	310
	セラミックス・その他	1Q FY2026	70	-	-	40	110
		1Q FY2025	87	-	-	47	134
	消去	1Q FY2026	-	-	-	▲ 59	▲ 59
		1Q FY2025	-	-	-	▲ 84	▲ 84
合計		1Q FY2026	3,310	638	1,431	-	5,380
		1Q FY2025	3,150	601	1,244	-	4,996

売上高・営業利益 セグメント・四半期別推移 (1)

(億円)

建築ガラス	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026
売上高	1,040	1,068	1,100	1,203	1,120
アジア	346	361	390	438	345
欧米	685	703	705	761	773
(セグメント間)	10	4	5	4	2
営業利益	▲ 9	42	68	72	47
オートモーティブ	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026
売上高	1,287	1,269	1,299	1,350	1,376
オートモーティブ	1,287	1,269	1,299	1,349	1,376
(セグメント間)	1	0	1	1	1
営業利益	77	74	83	59	86
電子	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026
売上高	867	815	915	954	903
ディスプレイ	458	443	461	485	481
電子部材	405	367	450	463	417
(セグメント間)	4	5	4	5	5
営業利益	140	104	116	115	123

売上高・営業利益 セグメント・四半期別推移 (2)






(億円)

化学品	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026
売上高	1,441	1,417	1,455	1,529	1,572
インテグレイテッドケミカルズ	717	741	750	812	784
エッセンシャルケミカルズ東南アジア	712	666	695	701	784
(セグメント間)	12	10	9	16	4
営業利益	111	115	171	134	152

ライフサイエンス	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026
売上高	310	325	326	369	356
ライフサイエンス	300	317	324	353	349
(セグメント間)	10	8	2	16	7
営業利益	▲ 62	▲ 58	▲ 43	▲ 60	▲ 33

全社	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026
売上高	4,996	4,959	5,167	5,467	5,380
営業利益	258	282	408	326	385

(億円)

	FY2026 1Q (a)		FY2026e (b)		進捗率 (a)/(b)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	1,120	47	4,800	200	23%	23%
 オートモーティブ	1,376	86	5,100	320	27%	27%
 電子	903	123	3,600	450	25%	27%
 化学品	1,572	152	6,800	560	23%	27%
 ライフサイエンス	356	▲ 33	1,600	▲ 50	22%	66%
 セラミックス・その他	110	8	600	20	18%	38%
消去	▲ 59	2	▲ 500	0	12%	-
合計	5,380	385	22,000	1,500	24%	26%

数量・価格動向

				2025				2026
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
前年同四半期比 (YoY)								
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	▲1桁半ば	▲1桁半ば	横ばい	+1割強	+約1割
			価格	▲1桁半ば	▲1割弱	▲10%台半ば	▲1割強	▲1割強
		欧州 ^{*2}	数量	+1桁半ば	▲1割強	微減	微減	▲1割弱
			価格	▲1割弱	+2割強	+4割弱	+約4割	+約3割
	自動車生産台数 (S&P global 4/2データより)	日本	数量	+11%	+1%	▲3%	▲3%	+2%
		北米	数量	▲5%	▲4%	+5%	▲1%	▲3%
欧州 ^{*2}		数量	▲6%	▲0%	+4%	+1%	▲3%	
電子	ディスプレイパネル需要 ^{*1} (Omdia社)	グローバル	面積	+11%	▲2%	+7%	+5%	▲1%







^{*1} 出典：Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 1Q26 Pivot, April 2026

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

^{*2} 東欧を除く

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	FY2024	FY2025	FY2024	FY2025	FY2024	FY2025	FY2024	FY2025
 建築ガラス	164	173	413	435	5.5%	5.2%	3,000	3,300
 オートモーティブ	139	293	464	611	4.2%	8.5%	3,350	3,450
 電子	545	475	1,076	971	9.2%	8.2%	5,950	5,800
 化学品	568	530	1,102	1,084	7.8%	7.0%	7,250	7,600
 ライフサイエンス	▲ 212	▲ 223	▲ 55	▲ 70	▲ 10.1%	▲ 9.3%	2,100	2,400
 セラミックス・その他	51	26	69	43	25.6%	10.4%	200	250
消去	4	1	2	▲ 1	-	-	-	-
合計	1,258	1,275	3,071	3,073	5.8%	5.6%	21,850	22,800

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

		IFRS				
		21/12	22/12	23/12	24/12	25/12
売上高	百万円	1,697,383	2,035,874	2,019,254	2,067,603	2,058,832
営業利益	百万円	206,168	183,942	128,779	125,835	127,465
営業利益率	%	12.1	9.0	6.4	6.1	6.2
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	123,840	▲ 3,152	65,798	▲ 94,042	69,162
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	10.2	▲ 0.2	4.6	▲ 6.5	4.7
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	7.9	6.7	4.5	4.3	4.4
自己資本比率	%	49	49	49	50	50
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.41	0.41	0.42	0.39	0.37
有利子負債 / EBITDA *3	倍	1.6	1.8	2.3	2.1	2.1
営業CF / 有利子負債	倍	0.54	0.33	0.31	0.44	0.43
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	559.11	▲ 14.22	304.73	▲ 443.71	326.20
一株当たり配当金	円/年	210	210	210	210	210
DOE	%	3.8	3.4	3.2	3.1	3.0
為替レート (期中平均)	円/ドル	109.80	131.43	140.56	151.58	149.71
	円/ユーロ	129.89	138.04	152.00	163.95	169.00

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

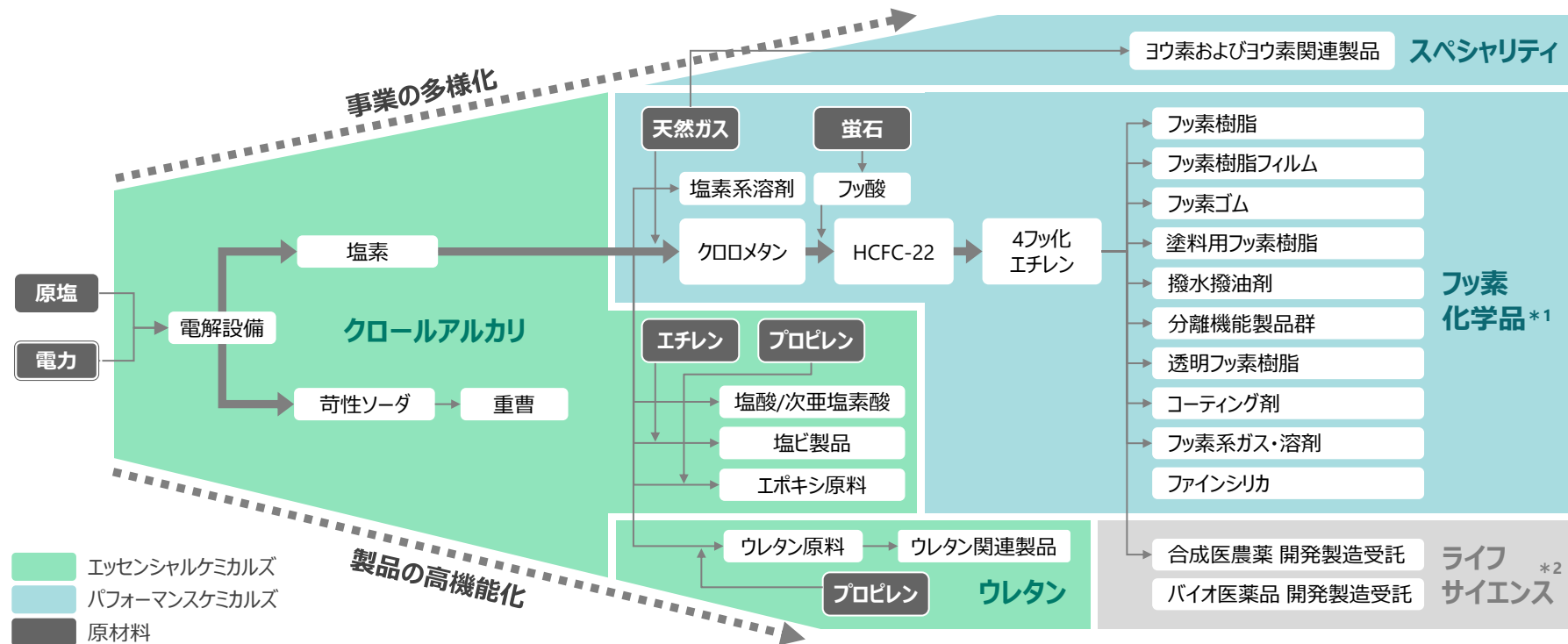
*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

その他の財務指標についてはこちらを参照ください  https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

化学品事業のケミカルチェーン（事業内容と主要製品）

- ガラス原料であるソーダ灰の自給を起点に100年をかけて形成された独自のケミカルチェーン



*1：一部フッ素を原料としない製品を含む *2：2023年より、ライフサイエンスカンパニーとして独立

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

The logo for AGC, consisting of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'A' and the 'G'.

Your Dreams, Our Challenge